



SAGARAMURA

相良村

村勢要覧 2011



目次

CONTENTS

相良村の概要	1
〔村民憲章・村章・村花・村木・村鳥〕	
相良村の観光	2
相良村の文化財	4
相良村の産業	6
〔農業〕	6・7
〔林業・畜産業・商工業・水産業〕	8・9
相良村の福祉と医療	10
〔社会福祉〕	10
〔児童福祉〕	12
〔保健・医療〕	13
相良村の教育	14
〔学校教育〕	14
〔社会教育〕	15
安心・安全な暮らし	16
〔生活環境〕	16
〔消防・防災・交通・防犯〕	17
相良村のむらづくり	18
〔行政〕	18
〔議会〕	19
村長挨拶	20
さがら音頭	21

相良村の概要

本村は、熊本県の南部、人吉球磨盆地のほぼ中央にあり、村の中央を日本三急流の一つである球磨川の支流川辺川が北から南にかけ貫流しています。北部は、標高400m～1,300mの山岳が連なる山林地帯であり、南部は、平野が拓けた農耕地帯を形成しています。

東西(北端11km・南端4km)、南北24kmの「くさび形」の地形をした総面積94.54km²のうち、山林面積が約75%を占める山紫水明の農山村であります。

役場庁舎の位置…東経130度47分59秒
北緯 32度13分43秒
標高151.989m

村民憲章

- 一、自然の恵みに感謝し、豊かな美しい村をつくります。
- 一、仕事によるこびと誇りをもち、産業の振興につとめます。
- 一、先人に学び、伝統を継承し、文化を高めます。
- 一、かけがえのないいのちを大切にし、健康づくりにつとめます。
- 一、助け合い励ましあって、住み良い村をつくります。

村章



デザインの説明

さがらの「さ」を図案化したもので、将来に向かって強く、大きく飛躍する「発展」と互いに交わる村民の「融和」を表し、下部の切りぬきは貫流する「川辺川」を意味しています。



村花：福寿草



村木：茶



村鳥：セキレイ



A photograph showing three dancers in traditional Japanese clothing performing a dance. One dancer is in a white kimono with a dark obi, another in a white top and patterned skirt, and a third in a red kimono. They are in dynamic poses, with arms raised. In the background, there is a traditional Japanese building and other people.

相良三十三観音一斉開帳

人吉球磨郡内に点在する33の観音堂が春、彼岸に一斉開帳されます。相良村には十島観音・観音・深水観音・上園観音・廻り観音の5観音があり、元住民による温かいおもてなしが参拝客を出迎えます。

四浦地区

川辺地区

柳瀬地区

10 サガラッパ祭

毎年夏に行われるイベント。村内外から多くの来場者が訪れ、多彩な催しで賑わいます。

2月～3月に開催される「人吉球磨は、ひなまつり」の発祥の地。住職が集めた約3,000体の雛人形が並びます。

四浦地区



① 四浦阿蘇神社

江戸時代後期に建築された建物。保存状態も良く、村の有形文化財に指定されています。



③ 小山勝清顕彰碑

四浦晴山出身の作家。「彦一とんちばなし」「山犬少年」など多数の作品があります。代表作は、「それからの武蔵」。



⑤ 四浦和紙

相良村に古くから伝わる和紙づくり。引きに強く破れにくい良質な和紙として有名です。



深水地区



⑪ ふるさと館 (旧四浦村役場庁舎)

木造2階建ての建物で、国の登録有形文化財(建造物)に指定されています。旧四浦村の役場庁舎で、文化財の保護や生涯学習の拠点施設として利用されています。



② 北嶽日吉神社

標高645mの高台にあり、「猿」にまつわる伝説で有名な神社。毎年秋には大祭が行われます。



④ 大谷太鼓踊り (村指定無形文化財)

球磨地方に伝わる臼太鼓踊りの一種で、四浦阿蘇神社の大祭で奉納されます。



⑥ 初神棒踊り (村指定無形文化財)

江戸時代から初神地区に伝わる郷土芸能。歌い手にあわせ棒を打ち鳴らして踊ります。



⑫ 深水観音

相良三十三観音の十六番札所。お堂の正面には青銅の鰐口(わにぐち)、左手には「深水頼方宗芳」の墓があり、歯の神様として知られています。



⑬ 山本神社

神社の本殿は、築造年代が中世までさかのぼる歴史ある建物です。



Traditional Cultural Assets

相良村の文化財

本村には、国指定重要文化財「十島菅原神社」をはじめ、多くの木造建築物や仏像があります。また、各地区に伝わる郷土芸能「大谷太鼓踊り」や「永江太鼓踊り」などは、人口減少・過疎化・少子高齢化により後継者の減少が危惧されています。ふるさとの伝統文化を後世に継承するためにその保全に努めます。



⑦ 廻り観音

相良三十三観音の十八番札所。お堂には室町時代のもと思われる鉄製の菊花文の鰐口が下げられています。



⑧ 上園観音

相良三十三観音の十七番札所。かつては「萩原観音」と呼ばれ、境内には老樹のシラカシがあります。



⑨ 永江太鼓踊り (村指定無形文化財)

雨乞いの神社として有名な雨宮神社の大祭で奉納される太鼓踊りです。



⑩ 上川下獅子踊り (村指定無形文化財)

江戸時代前期頃から上川下地区に伝わる郷土芸能。川辺厳島神社の祭りで奉納されています。

川辺地区

柳瀬地区



⑬ 十島菅原神社 (国指定重要文化財)

国の重要文化財に指定されており、学問の神様としても有名な神社。受験シーズンには多くの受験生が訪れます。



⑭ 井沢権現社 (県指定重要文化財)

中央殿・右脇殿・左脇殿の3棟からなる本殿は珍しい春日造りで、神社本殿としては当地方最古の建物です。



⑭ 蓑毛観音

相良三十三観音の十五番札所。ヒノキの一木造りで、長寿・家内安全に利益があるといわれています。



⑮ 十島観音

相良三十三観音の十四番札所。木像聖観音立像、阿弥陀座像・石地藏・朽仏が各一祀されています。

【農業】

相良村は、恵まれた自然を活かした農業を基幹産業とし、米を中心に茶・たばこ・メロン・イチゴなどの生産が盛んで、優良農地の確保、保全、耕作放棄地の発生防止に努めています。特に、農林水産大臣賞などを受賞した茶については、四浦地区と高原台地を中心に栽培されており、川辺川の深い霧に育まれた、豊かな香りとまろやかな味は、高い評価を受けています。

就業者の高齢化が進み後継者が不足するなど農業を取り巻く状況は厳しさを増していますが、今後も担い手の育成・確保を図り、生産者・農業団体・関係機関が連携しながら、食の安心安全と環境に配慮した農業を推進します。



米

農薬や化学肥料を削減したやさしい米づくりに取り組み、品質のよい安心安全なものを消費者へ提供しています。なかでも「十島米」は名のとおり十島地区で主に作られており、相良村のブランド米となっています。また、相良村産の米を原料に造られた焼酎「川辺」はすっきりとした味わいで、お土産にも人気の逸品です。

イチゴ

相良村の特産物のひとつであるイチゴは、主に「さがほのか」と「紅ほっぺ」の品種が生産されています。ハウスの中で念入りに育てられ、毎年11月中旬～翌年5月にかけて収穫されます。相良村の冷涼な気候の中で育ったイチゴは、品質も良く、とっても甘いです。



メロン

相良村内では主にアンデスメロンが生産されています。温度管理や水分管理を慎重に行い、果皮がクリーム色になると収穫です。みずみずしくジューシーな果肉は糖度が高く、お土産や贈答用としても人気の逸品です。



自然豊かな風土が育んできた 相良村の基幹産業

相良村の産業

農業

■ 農業の状況(平成22年)
総農家数575戸・専業農家117戸
第1種兼業農家43戸・第2種兼業農家215戸



茶

熊本県内トップの粗生産額を誇るお茶。温暖な気候と茶に適した土壌、球磨地方特有の朝晩の寒暖の差や朝霧で育てられています。うま味成分であるアミノ酸や健康成分であるカテキンがたっぷり含まれ、豊かな香りとまろやかな味は全国的にも高い評価を受けています。また、製茶技術も高く、全国茶品評会でも、1等最高位である農林水産大臣賞を受賞しています。



お土産としても人気のお茶。生産者により大切に育てられた香り高いお茶は、相良ブランドで知られる最高級品です。



トマト



にんにく

その他、トマトやにんにく、葉たばこの生産もさかんです。肥沃な土壌、豊かな水源、温和な気候。農業に最適な環境である相良村では、多種類の作物が育ちます。



【林業】

相良村の森林面積は7,056haで、村の総面積の約75%を占めており、林業は農業と並ぶ基幹産業となっています。

しかし、林業従事者の高齢化による担い手の減少、木材価格の長期低迷及び鹿による被害など厳しい状況にあります。

今後は、後継者育成を推進し、森林が果す地球温暖化防止や水源涵養などのさまざまな機能を重視しながら、経営の安定向上を図っていきます。



有害鳥獣対策

野生鳥獣による農作物等の被害を食い止めるため、平成22年度に鳥獣被害防止対策協議会を設置しました。被害情報収集、防護柵の設置、農家の防護意識の啓発等の事業計画を立て、貴重な地域資源を守っていきます。また、有害鳥獣追い払い用にゴム銃を活用するなど、さまざまな対策に取り組んでいます。



シカ柵



サル追い払い用の
ゴム銃

地域の特色を活かした 活力あふれる産業の振興



【畜産業】

平成22年に他県で発生した口蹄疫の経験から、伝染病未然防止対策として、畜舎への不慮な立入の制限や消毒の励行を強化しています。

今後、規模拡大が進む中、就業者の高齢化に伴う支援体制を整え、受精卵移植等を活用しながら高品質で安全な生産を推進します。



【水産業】

相良村の水産業は鮎の養殖業が中心となっています。より綺麗な水を使用し、鮎の成長に必要な栄養バランスを調整した餌を適量与え、人工水流により適度な運動をさせて養殖された鮎は、全国的にも高い評価を受けています。今後も豊富な水産資源を守り、安心安全に配慮した水産業を推進します。



全国水質 NO.1 を誇る川辺川では、毎年6月に鮎釣りが解禁となります。全国からやってくる太公望たちが竿を振る風景は相良村の夏の風物詩となっています。



相良村の産業

林業・畜産業・商工業・水産業

- 耕地面積の状況
田455ha・畑378ha・山林7,056ha
- 産業別就業者数(平成17年)／第一次産業638人
第二次産業697人・第三次産業1,298人

【商工業】

近年、近隣市町村への大型スーパーなどの進出で、村内の消費力は低下の傾向にあります。本村では相良村商工会などの関係機関との連携による地域商工業の育成及び地場産業の活性化を推進します。

また、特産物の開発支援によって地場企業の強化を図るとともに、雇用の場の確保及び拡大を目指しながら、企業誘致にも積極的に取り組んでいます。



球磨酪農農業協同組合



A コープ



木材市場

〔社会福祉〕

地域に住む一人ひとりが主体となり、誰もが住み慣れた地域で人と人とのつながりを大切にし、「支え合い 助け合い ともに生きる むらづくり」を地域福祉の基本理念に、「生きがい」や「やすらぎ」を実感でき心豊かに暮らせる体制を整えます。



スポーツ大会などを通じ、子どもから高齢者まで誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを進めています。

人と地域との連携で 福祉サービスと支援体制の強化



高齢者福祉

「高齢者とお互いに支え合う安心して暮らせる村づくり」を基本理念に、健康の保持と増進、介護予防事業の推進、老人クラブなどの生きがい対策を推進していきます。支援が必要な高齢者に対し、配食サービス、生きがい対応型デイサービス、軽度生活援助サービス等を提供し、高齢者の自立と生活の質の確保等を行っています。また、高齢者向け「げんきアップ教室」などの介護予防を推進し、地域の特性に応じた介護サービスの充実を図っています。



げんきアップ教室

高齢者の健康づくりを目的として、65歳以上の方を対象に健康教室を実施しています。無理のないメニューで楽しく汗を流し、心身ともに健康な体づくりを行っています。



川辺川園

障がい者福祉

障がい者福祉においては、「互いに理解し 支え合い ともに生きる」を基本理念に相良村障がい者福祉計画を策定し、住みなれた地域でともに生活し、社会に参加できるむらづくりをめざしています。村内には、就労継続支援（B型）あさひヶ丘、就労継続支援（A型）やまびこ、就労支援事業所友愛苑があり、障がい者の社会参加を支援しています。



作業風景

民生委員・児童委員による、高齢者世帯の訪問活動、児童・生徒の登下校時の安全見守り活動を行っています。また、災害時要援護者への「命のボタン」の配付活動も行っています。



命のボタン

高齢者や障がい者の安心・安全を確保するため、高齢者のひとり暮らしや障害者の方などを対象に「命のボタン」を配布しています。災害時や病気に迅速に救急活動を受ける体制を整えています。

相良村の福祉と医療

社会福祉

■ 高齢者世帯の状況

単身世帯 147 戸（9.4%）・夫婦世帯 200 戸（12.8%）
その他同居世帯 677 戸（43.3%）（平成 17 年度国勢調査）

シルバー人材センター

相良村シルバー人材センターでは、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを目的として様々な活動を行っており、豊富な経験、知識、技能を生かせる場となっています。



毎年10月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と定められており、ボランティア活動などを実施しています。



〔児童福祉〕

子育て支援

子どもを安心して生み育てることができる社会を地域・家庭・行政が一体となって築きあげるため、子育てにかかる経済的負担の軽減や働きながら子育てをしている皆さんの生活支援など子育て環境の充実を図ります。

本村には保育所が3ヶ所あり、子育て家庭の支援のため、様々なニーズに応じたサービスを提供しています。



保健師や保育士による相談、子育てについての情報交換、親子の交流等を目的に「ちやちゃクラブ」（子育て応援事業）を開催しています。

また、ひとり親家庭の自立のため、日常生活や就業、養育費などに関する支援について情報の提供を行っています。また、児童扶養手当やひとり親家庭医療制度があります。



なつめ保育園



暁保育園



あざみ園

〔保健・医療〕

住民の皆さんが生き生きとした生活を送るため、生活スタイルの変化に伴う生活習慣病の抑制や次世代を担う子どもたちが健やかに成長できる環境づくり、高齢者が生きがいを持って地域社会の中で元気に暮せるための仕組みづくりなどの支援を行っています。



40歳以上の方を対象にした住民健診では、村内医療機関をはじめ、郡市の医療機関で8月から10月の間に自分のできる時に医療機関で健診が受けられるようにしています。また、人間ドックでは日帰り人間ドックを4健診機関が利用できるようにしています。

相良村の福祉と医療

児童福祉 | 保健・医療

■ 特定健康診査

対象者数 1141 人・受診者数 644 人・
受診率 56.4%（平成 22 年度）



子どもたちが健やかに成長できるよう、母子健康手帳交付、乳幼児訪問事業、3か月健康診査などの定期健診を実施しています。同時に子どもさんの成長発達についての相談も行っています。また、相良村では、子どもの疾病の早期治療を促進するため「こども医療助成事業」で小学生までの医療費の無料化を行っています。

平成 23 年 4 月に以前あった畜産センターをリニューアルし、健康づくりの拠点として「相良村ふれあいセンター」が完成しました。

ふれあいセンターでは、住民皆さんの健康づくりのお手伝いをしながら誰でも気軽に立ち寄っていただけるような場所にしていきたいと考えています。



相良村食生活改善推進員による保育園児を対象にした「親子クッキング教室」や中学生を対象にした「郷土料理教室」も行っています。

毎日元気にいきいきと 村民のための医療の充実



〔学校教育〕

豊かな心の育成を目標に基礎学力、基礎体力の定着を図るため、学校・家庭・地域が連携し児童生徒一人ひとりを活かす創意工夫のもと学校教育を進めています。また、社会の変化に対応できるよう教育の内容や相談・指導体制を充実させ、心身ともに健全な児童生徒の育成に努めています。

本村には相良中学校、相良南小学校、相良北小学校の3校があります。将来の子ども達のあるべき姿を見据え、一人ひとりが活躍し成長できる学校を目指しています。



相良中学校

平成 15 年 4 月 1 日に相良北中学校と相良南中学校が統合し、相良中学校が誕生しました。

《校訓》
一、「自主」
二、「友愛」
三、「勤労」



相良村学校給食共同調理場

小・中学生にとって学校生活の楽しみのひとつである給食。共同調理場では1日約 485 食が作られています。地元の特産物を使うなど相良村ならではのメニューもあり、多彩な献立となっています。育ち盛りの子どものことを考えて、真心のこもった給食が作られています。

健やかな心とからだを育てる 学びの環境づくり



相良北小学校

《校訓》
心豊かに
体たくましく



相良南小学校

《校訓》
かしこく
やさしく
たくましく



村民体育祭



相良いけばな教室



村民球技大会

〔社会教育〕

生涯学習

文化・スポーツ活動などの中で、いつでも・どこでも・だれもが自分の生活スタイル（ライフステージ）にあわせて、自ら学べる環境づくりを図り、住民の多様なニーズに対応するため学習内容を充実させています。また、文化祭や体育祭、村民球技大会など、村民一人ひとりが主役となり、子どもから高齢者まで幅広い世代が活躍できるイベントを実施しています。



勾玉作り

相良村の教育

学校教育 | 社会教育

- 小・中学校の状況／小学校2校・中学校1校
- 児童数・生徒数の状況(平成23年5月1日現在)
相良北小学校37人・相良南小学校242人
相良中学校143人



文化祭

本村には文化協会 12 団体、体育協会 14 団体があり、それぞれ活動が行われています。今後も団体の活性化、新しい文化の育成、人材の確保・育成などを進め、文化とスポーツの振興を図っています。平成 22 年度には、総合型スポーツクラブ「茶れんじクラブ」を設立し、スポーツと文化を通して健康増進を図っています。



グラウンドゴルフ



村民駅伝大会

【生活環境】

上下水道

安心で快適な環境づくりとして、簡易水道4施設と農業集落排水3施設の維持管理や浄化槽の普及促進に努めています。下水道においては、平成20年4月から大規模農業集落排水施設「川地区クリーンセンター」の供用を開始しており、相良村が誇る清流「川辺川」の水環境を守るとともに、「水と緑を活かした潤いのある村づくり」を推進していきます。



柳瀬地区簡易水道給水施設



川地区クリーンセンター



道路

生活していく中で道路の整備は必要不可欠です。道路改良や歩道整備を計画的に進め、住みよい村づくりに取り組んでいます。



【消防・防災】

相良村では住民の生命、財産を守るため、安心安全なまちづくりに取り組んでいます。村内には9分団の消防団が組織されており、総勢296名（平成23年6月現在）を有しています。災害発生時には迅速・的確に対応できるよう、日ごろから訓練に取り組んでいます。

また、いつ起きるか分からない災害に備え、防災会議や各施設での防災訓練を実施しています。



出初式

毎年1月初旬に行われる出初式では、相良村消防団による操法競技や放水競技などが行われます。



人吉下球磨消防署中分署

だれもが安心して暮らせる 住みよい生活環境の整備

相良村の安心・安全な暮らし

生活環境 | 消防・防災 | 交通安全・防犯

■ 消防組織の状況(平成23年6月現在)
分団数9団・団員総数296人



住宅・環境

村営住宅は平成23年4月1日現在、55棟建設されています。これまで公営住宅は主に住宅に困窮する低所得者向けに建設されてきました。しかし少子高齢化が進む現代の状況の中、公営住宅法も改正され、福祉的役割に重点をおいた住宅づくりが求められています。今後は、福祉機能を有する施設との連携をとりながら、地域の子育て環境にも配慮した居住環境づくりにおいて定住促進も視野に入れ、さらなる住宅環境のサービス向上を目指します。

情報通信

平成22年度、光ケーブルを村内全域に整備し、告知端末機を各家庭に取り付けました。行政情報や災害時の緊急情報を流し、重要なライフラインのひとつとして役割を果たしています。また、光によるインターネット環境を整え、情報格差は正にも取り組んでいます。



告知端末



サーバ室

【交通安全・防犯】

警察、交通指導員を中心に早朝街頭指導、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室を実施し、交通安全の推進・啓発を行っています。

また、学校・PTA・各種団体と連携を図りながら継続的に防犯パトロールを実施しています。地域一体となりさらなる防犯体制の強化に努め、犯罪のない住みよい村を目指します。



深水駐在所



交通安全タッチ運動

ドライバーの交通安全に対する意識付けを目的として毎年交通安全タッチ運動を実施し、交通事故防止の啓発に努めています。



交通安全教室

〔行政〕

近年、社会情勢の変化、少子高齢化社会の到来などにより行政に対する需要は複雑多様化しています。このような中、住民福祉の向上や地域振興の基盤となる社会資本の整備拡充を図り、効果的・効率的な行財政運営を推進するとともに、住民の関心と信頼が得られる住民サービスに努めます。



相良村役場



総合体育館

〔議会〕

議会は、住民を代表する公選の議員をもって構成され、ひろく行財政全般にわたる具体的事務処理についての意思決定機関であり、憲法第93条で保障されています。

現在、本村の議会議員は、定数11名で構成され、年4回（3月、6月、9月、12月）の定例会と必要に応じて臨時会が開催され、その招集権は村長がもっています。また、より専門に審議がなされるよう総務文教、産業福祉と2つの常任委員会と必要に応じて特別委員会も設置し、緊急等に対応できるよう全員協議会も開催。村民の要望等をいち早く村政に反映させる重要な役割を担っています。



村内視察



議長
小善 満子



副議長
茂吉 隆典

魅力ある「相良村」を目指し 住民の声を村政に

相良村の村づくり

行政・議会

■ 有権者数／男性 1,961 人・女性 2,230 人
総数 4,191 人（平成 23 年 9 月 2 日現在）

村政座談会

行政と住民の意見交換の場として、村政座談会を実施しています。地区ごとに行い、それぞれの地区が抱えている課題を行政に直接要望できる場として村政座談会は有効に機能しています。住民の生の声を村政に活かし、行政と村民が一体となった魅力ある村を目指します。



地域づくり交付金

平成 23 年度から、地域事業に取り組む行政区単位で組織された団体に対し補助金を交付する「相良村地域づくり補助金事業」を実施しています。住民自らが主体となり、村全体で活力ある地域づくりに取り組み、よりよい村を目指しています。





ご挨拶

相良村は昭和31年9月1日に川村と四浦村が合併して誕生しました。熊本県南部に位置し、豊かな自然に恵まれ、古い歴史と伝統が息づく農山村です。村の中央には全国水質 NO.1 を誇る「川辺川」が北から南へ貫流しています。

近年、急激な少子高齢化社会の到来や地方分権の進展など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。

本村においても例外ではなく、過疎化や少子高齢化の進行に拍車をかけており、厳しい状況が続いています。このような状況の中で、私たちのふるさとが大きくはばたくために、若者が将来に「希望」を持って働き、楽しみ、交流し、お年寄りをはじめ村民一人ひとりが「安心」と「安全」を実感し、家族が「笑顔」で生活できる相良村を目指して、村民と行政が一丸となって村勢の発展に取り組んでまいります。

多くの皆様にこの村勢要覧をご覧いただき、相良村の自然や歴史・文化・産業を少しでも理解いただき、明日の相良村を考える一助としていただければ幸いです。

相良村長 徳田正臣

さがら音頭

作詞:宮原虎勝 作曲:木村イツ子 編曲:山田年秋

- 1、春は花咲き 若葉が映える
あねさんかぶりの いきなこと
※ さーさ踊ろうよ
みんな揃って ひと踊り
さがら音頭で チョイトひと踊り
- 2、夏はたのしや 釣竿肩に
若鮎おどる 川辺川
清い流れは 日本一
※くりかえし
- 3、秋はうれしや稲穂の浪が
おいでおいでと みなまねく
米の味なら 日本一
※くりかえし
- 4、冬はよいとこ 一度はおいで
明日にのびゆく 相良村
ソーラーハウスは日本一
※くりかえし



相良村村勢要覧

平成23年12月発行

〒868-8501 熊本県球磨郡相良村大字深水2500番地1

TEL:0966-35-0211 FAX:0966-35-0011

<http://www.vill.sagara.lg.jp/>

発行／熊本県球磨郡相良村役場総務課

制作・印刷／有限会社ソーゴグラフィックス

